



自衛隊栃木地方協力本部

将来日本の防衛中枢で活躍する防大生に大感激！ ～防衛大学校開校祭見学ツアー～



ド迫力の棒倒し決勝



吹奏学部の楽器演奏

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は、11月10日（日）、栃木県内の防大入校予定者等10名を引率し、防衛大学校開校祭見学を行った。

当日の集合は、早朝であったにもかかわらず、参加者たちは皆明るく元気で、今回の防衛大学校開校祭見学ツアーを楽しみにしている様子であった。防大到着後、定番の売店に案内したが、あまりの大盛況ぶりに「30分の買い物時間では全然足りない」と、大好評であった。買い物後は、応援団リーダー部を見学し、その勇ましい活動内容を見学した後、アカシア会主催のフェリス女学院の華やかなダンス、芸達者な防大生によるピアノ同好会の卓越したピアノ演奏、吹奏楽部の楽器演奏等では、まさかの姿にも感動することなく「軍艦マーチ」を演奏して、くれた姿に、感動するとともに、夢中で見学していた。始めは制服姿の凛々しい防大生を前に、入校予定者等も緊張した面持ちであったが、そこは同年代、あつという間に防大生の意外な一面を垣間見て、「かたいイメージだけでなく、一般大学と同じように楽しそう」と、親近感を抱いていた。そして、皆が楽しみにしていた1大隊と2大隊による棒倒し決勝は、雄叫びを上げ縦横無尽に棒に飛びつく勇ましい防大生のド迫力の姿に、「やばこ」と驚いていたり、「私もやりたい」という女性参加者からの声もあった。

その後、時計台前で行われた一糸乱れぬ儀仗隊の演舞には、全員が息をのむ緊張感に「すごい」と驚いた様子であった。防大初代模校長の銅像前で行われたベトナムキングの実演では、「毛布の上に寝るの？」と、思わずつぶやくなど楽しんでる様子であった。

帰りのマイクロバスでは、車内プレゼンツ企画の「大じゃんけん大会」が行われ、最後まで募集課長に勝ち続けた防大一般2次試験待ちの参加者が見事「I♥防大Tシャツ」を手に入れ、「防大の2次の面接会場でこれを着たら絶対合格ですね」と大喜びであった。今回の防大開校祭見学に参加した入校予定者等から「本当に貴重な一面を見ることができました。将来の国防の中枢を担う防大生の印象が、厳しい印象だけではなく、楽しい一面があることを知りました」「防大に入ったら、高校時代から続けている吹奏楽部に入りたい」等の感想をいただいた。

栃木地本は、「今回の見学は、防大入校予定者の意欲向上と、次年度以降の防大受験予定者の更なる理解促進を図る貴重な体験となった。また、同行した栃木地本職員の知見も向上することができ、今後の募集業務に生かしていく」としている。

「コマツフェスティバル2024」

栃木地本キャラクター広報戦士とちまも3兄弟「りく」現る！



自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所（所長 小林一空尉）は11月9日（土）、小山市の小松製作所で開催された「コマツフェスティバル2024」において、第12偵察戦闘大隊（相馬原）の支援を受け広報展を行った。

当日は秋晴れの天候であり、会場は熱気にあふれていた。広報展では、軽装甲機動車の展示に多くの来場者が集まり、記念撮影をするなど賑わいを見せていた。栃木地本キャラクター広報戦士とちまも3兄弟の「りく」が現れると、写真撮影を希望する多くの親子連れで人だかりができていた。また、陸海空自衛隊の制服や迷彩服の体験試着では子供から大人まで幅広く楽しんでおり、来場者の親子からは、興味津々の様子で「自衛隊さん、かっこいい」「自衛隊の制服を試着出来て記念になりました」などの声があり、自衛隊に対する興味及び理解を得られた広報展となった。

小山地域事務所は、「今後も、自衛隊への認知向上を図るため、各種車両の展示・説明を行うって募集広報をはじめ防衛省自衛隊に対する一層の理解促進を図っていく」としている。

